

京都・西陣織 川島織物セルコン
ミラノデザインウィーク2019

琳派 神坂雪佳作「百花」 インスタレーション

会期：2019年4月9日～4月14日

会場：パラッツォ・リッタ（イタリア ミラノ）



百花(紋ビロード)

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市左京区 社長:山口進)は、京都・西陣を発祥とする織物メーカーです。織物業界の最高峰ブランドとして伝統美を最新技術に生かしながら、着物の帯や緞帳、美術装飾品からインテリアファブリックまで幅広く生産しています。また国宝の修復や復元にも携わり、奈良の正倉院に保存されている約1300年前の織物・正倉院裂(しょうそういんぎれ)を復元模造する10年プロジェクトを担うなど、日本の織物の歴史を支えてきました。

当社は、織物の未来と100年後の川島織物セルコンを考える活動のひとつとして、イタリア ミラノで開催される世界最大規模のデザインの祭典『ミラノデザインウィーク』に初出展します。伝統技術と先端技術を合わせ持つ川島織物セルコンの誇る様々な手法で作り上げた織物を、インスタレーションで表現します。

展示の題材には、日本のみならず海外からも多くのファンを魅了してやまない琳派の画家・工芸デザイナーの神坂雪佳が、川島織物セルコンのためにデザイン制作した「百花」を採用しました。アートディレクションを担当したのは、ジャパングリエイティブの代表理事でグラフィックデザイナーの廣村正彰氏。日本の誇る織物芸術の精緻なクラフトマンシップと最新技術の織りなす和により、甘美かつ優雅な空間構成となっています。

川島織物セルコンは、創業来170余年にわたり培ってきた伝統技術と最新技術の掛け合わせが生み出す織物の可能性を追求し続けていきます。

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン 経営戦略部 広報・法務グループ 有賀・松本
TEL：075-741-4316 MAIL：kouho@kawashimaselkon.co.jp

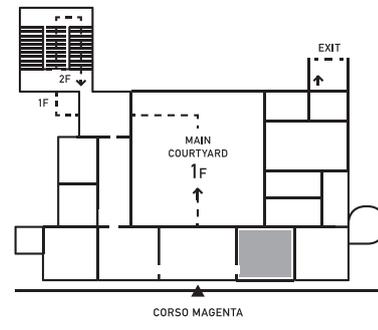
※当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、当社ホームページ(<http://www.kawashimaselkon.co.jp/>)
LIXILホームページ(<http://www.lixil.co.jp/>)でも発表しています。

www.kawashimaselkon.co.jp

Kawashima Selkon Textiles Co.,Ltd.

開催概要

タイトル：百花 craft ⇄ industry
日時：2019年4月9日～4月14日(日) 10:00～20:00
プレスプレビュー 4月8日(月) 12:00～19:00
場所：Palazzo Litta パラッツォ・リッタ 2階 YELLOW 9
住所 - Corso Magenta 24, 20121 Milan, Italy
HP - <http://www.palazzolittacultura.org/>
特設サイト：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/event/milan2019/>
※ 3月25日 開設予定



アートディレクション

廣村正彰氏

(グラフィックデザイナー、ジャパНКリエイティブ代表理事)



グラフィックデザイナーとして数多くの印象的な作品を生み出し、また、日本人がもつ優れた美意識や伝統に根ざした技術を国内外に発信することを目的としたプロジェクト「ジャパНКリエイティブ」のクリエイティブディレクターである廣村氏。歴史や伝統技術を大切にしながら最新技術を追求める当社の思いや活動に共感頂き、インスタレーションのアートディレクションが実現しました。

主な仕事：日本科学未来館、横須賀美術館、9hナインアワーズ、すみだ水族館、あべのハルカス、そごう・西武、ロフトなど。

主な受賞歴：毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞など

神坂雪佳と「百花」

神坂雪佳(1866～1942)は、琳派の画家・工芸デザイナーであり、かつて川島織物で図案を描いていたことがあります。染織・陶芸・漆芸・建物内装や室内装飾なども手掛けるプロデューサーのような才能も発揮し、2001年には日本人として初めてエルメスの雑誌の表紙を飾りました。

「百花」は神坂雪佳が、川島織物が製作する室内装飾織物用に描いた図案で、多くの花々がちりばめられた様は制作されてから100年を超えた今でも多くの人に愛されています。帯やカーテンなど様々な織物の意匠として使用し、当社の代表的な意匠のひとつとなっています。

川島織物セルコンについて

天保14(1843)年創業の織物メーカー。呉服悉皆業からスタートし、明治期に室内装飾織物(インテリア業)にも進出。現在は帯・緞帳・祭礼幕などの伝統的な織物から、カーテン・カーペット・インテリア小物までをトータルに手掛けています。伝統技術と先端技術を合わせ持つ川島織物セルコンは、日本の織物のパイオニアとして時代をリードし続けてきました。京都の本社は、日本最古の企業博物館「川島織物文化館」や染織の学校「川島テキスタイルスクール」を併設し、「織物をつくり・みて・まなぶ」ことが出来る珍しい施設になっています。

社 名：株式会社川島織物セルコン

所 在 地：京都市左京区静海市原町265

創 業：天保14年(1843年)

事 業 内 容：身装・美術工芸事業 帯、緞帳、祭礼幕、和装小物などの製造販売

インテリア事業 カーテン、カーペット、壁装、床材、インテリア小物などの製造販売、
室内装飾工事

軍配マークについて

軍配(くんぱい)とは、かつて武将が戦の指揮に用いたうちわ形の道具です。

川島織物セルコンでは二代川島甚兵衛が、自らが織物の祖と仰ぐ聖徳太子ゆかりの軍配扇を京都の広隆寺で目にして感銘を受け、その図柄を商標に採用しました。

現在も着物の帯に織り込むなど、歴史に裏付けされた織物技術と独自のデザイン表現・高い品質の証として使用しています。

本プロジェクトでは、ブランドの歴史や技術を進化・発展させ織物の未来につなげていくという志のもとに、軍配マークを使用しています。



川島織物